

# 南信州広域連合第1回広域連合会議 結果報告

日時：平成28年4月15日(金)14:48～15:27

場所：県合同庁舎 301号会議室

## 1 開 会…14:48

【出席者】13市町村長(泰阜村長欠席)・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕山本所長・細野地域政策課長補佐兼企画振興係長・竹村地域政策課主査

〔飯田保健福祉事務所〕寺井所長

〔飯田建設事務所〕西元所長

〔飯田市〕竹内産業経済部観光課長

〔下伊那高等学校長会〕笹会長

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕関島消防長・三石消防次長兼飯田消防署長・有賀総務課長

〔飯田環境センター〕田見事務長・北原事務長補佐兼新焼却施設整備担当専門主査

【事務局】渡邊事務局長・塚平事務局次長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・前沢庶務係主事

## 2 広域連合長挨拶

今年は飯田下伊那においてもお練りまつり・御柱といった式年祭が行われており、非常に賑わいをみせている中、昨日は九州・熊本県において大地震が発生し、多くの被災された方がおられるとのことである。亡くなられた方のご冥福と被災者の皆様方へのお見舞いを改めて申し上げます。同じ中央構造線上ということで当地域も他人事ではなく、改めて防災意識が問われるところである。南信州広域連合としても、来るべき南海トラフの地震あるいは活断層における地震等への対応をしっかりと行っていきたい。

平成28年度の最初ということで職員体制も替わり、県の三所長の皆様も年度替わりで交替された方もおられる。広域連合会議は毎月1回首長が集まり、時々の課題について話し合いを持ち、広域連合全体としてその解決に向けて尽力するものであり、全国からも注目されるこの広域連合だと考える。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

## 3 協議・報告事項

### (1) 平成28年度職員体制について

…資料1による説明(渡邊事務局長・関島消防長)

事務局・環境センターについて。林主事(事務局介護保険係)が高森町から2年間派遣された。介護保険担当だが、できる限り他のことにも従事させたい。窪田技師(環境センター)については、今年度から管理係長として引き続き桐林クリーンセンター業務を担う。

広域消防について。今年度より関島消防正監が消防長を拝命した。署課長については、消防次長兼飯田消防署長の三石消防監。総務課長の有賀消防司令長。予防課長の山口消防司令長。警防課長の大蔵消防司令長。警防課専門幹の木下消防司令長。伊賀良消防署長の細田消防司令長。高森消防署長の高橋消防司令長。阿南消防署長の松川消防司令長。その他各分署長等を含め、密接に連携をとってまいりたい。

【質疑なし】

### (2) 大学入試センター試験会場について

…口頭による説明(牧野広域連合長)

ご案内のとおり、それぞれの皆様方にご尽力いただき、来年の1月から飯田高校を大学入試センター試験会場とすることが決定した。詳細について事務局長から説明願いたい。

…資料2による説明（渡邊事務局長）

資料は信州大学から県教委宛の文書及び県教委から広域連合長宛の文書。もうひとつの復命書については、県教委から文書をいただいて改めて信大副学長にお行き会いた時のもの。これは東京の入試センター本部も承知済みの決定事項であり、具体的なことについては地域と相談させていただく。なお、連合長から県教委への御礼のご挨拶をしていただいた。信大へも日程調整後に御礼のご挨拶をしていただく。今後は地元との協定を結ぶことや、信大の現地視察等が予定される。

本日は、最初にご要望いただいた校長会からお見えいただいている。一言ご挨拶願いたい。

…御礼の挨拶（笹下伊那高等学校長会長）

この度は、我々にとって積年の願望が実現されたことに対し感謝申し上げます。私共も関係機関への働きかけを今までもしてきており、半ば諦めかけていたところ、この度広域連合で取り上げていただき、市町村長の皆様・地元選出の県議の皆様のお力添えのお陰で夢のような成果を得ることができました。多方面へ動いていただいた事務局長・事務局次長へも感謝申し上げます。私共は県立高校や私立高校であるが、今後はいろいろな面でご相談させていただいたり、できることはご協力させていただいて、連携のとれる関係を築いていきたいと思う。

【質疑なし】

### (3) 伊那谷自治体会議について

…資料4による説明（渡邊事務局長）

本年度少し組織が変わった。県の組織で今まで企画部・リニア整備推進局のダブル事務局の形であったが、4月からリニア整備推進局に事務局が移行され、ソフト・ハードの両面を担う。部会の設置については、①広域観光部会②二次交通部会③まちづくり部会 を設置していく。部会の具体的な構成については検討中のため、決定してきた段階で報告する。

次回の伊那谷自治体会議については、5月18日(水)に知事をお迎えして飯田合同庁舎にて開催予定。内容は部会の設置及び地域づくりについて。出席者は伊那谷3市長及び上伊那・南信州の両広域連合(当広域連合からは伊藤副連合長)。ご承知おき賜りたい。

【質疑】(熊谷高森町長)

「飯田下伊那はWi-Fi環境が良いのかどうか」という話を耳にした。リニア時代を迎えて外国人が当地域に来た時のために無料のWi-Fi環境を整えておくことが大事だと思う。現在の状況はどうか。専門の事業者任せにしておいてよいのか。

【応答】(塚平事務局次長)

ICT環境の調査事業から今後の展開について、今年度広域連合がプロジェクトとして取り組むこととしている。各市町村の情報整備の環境調査を昨年実施しており、それをふまえて今年度は民間業者も加わって、①現状把握②マップ化③マップを活用してICT環境が整っていない部分の判別(どこに手を入れるか)を行い、広域連合でどこまで協力できるかといったところを調査する。4月末から5月当初にかけて、市町村の情報担当者に集まっていただいて実施予定。

【要望】(深津松川町長)

観光において広域連携をとり、エコパークをひとつの中心として着地型観光を目指すことは南信州・伊那谷全体にとっても非常に大事なことだと思う。それをこれから部会を設けて行っていくことなので、ぜひよろしく願いたい。

### (4) 南信州在宅医療・介護連携推進協議会の発足について

…資料5による説明（塚平事務局次長）

当広域連合が事務局となり、現在まで準備会を進めてきた。そして4月25日に「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」という名称で発足できることとなった。資料には協議会の体制・どういったものを部会で検討していくかを表記し、協議会の設置要綱(案)を添付した。

協議会の委員の体制について。まず「理事会」として各構成団体の長に集まっていただく。また実質の推進母体である「幹事会」として、これまで準備会等でお話いただいた方々を中心にそれぞれの構成団体の中から代表の方に出していただき、全体の進行管理を行う。各具体的な事業内容を検討する「三専門部会」の構成員として、構成団体からそれぞれ推薦された方々に入っていただき、協議を進めるものとする。25日の発足以降はこの部会の方々が中心となり、具体的な8つの事業の検討を進めていくことになる。予算をかけずにできる事業については28年度から行っていきたい。予算化が必要な事業については29年度にはスタートできるようにしたい。その都度連合会議の場で協議しながら進めていきたいと考えている。

**【質疑なし】**

(5) 飯田広域消防から

①たき火火災ゼロ運動実施結果報告

②火災状況について

③火災放送有線化工事について

…口頭による説明（関島消防長）

昨日発生した熊本県の地震について。現在熊本県を除く九州6県の緊急消防援助隊が活動している。

…資料6による説明（関島消防長）

①たき火火災ゼロ運動実施結果報告（資料6-1）

3月8日から3月31日までの間、消防団の皆様等にご尽力いただきながら実施した。運動実施期間中の火災件数については資料参照。この結果を検証し、引き続き今後も火災予防に努めていく。また4月5日から4月17日までの間、運動中のたき火等の火災件数が多かったことをふまえ、引き続き特別広報を実施することについてご理解いただきたい。

②火災状況について（資料6-2・6-3）

資料6-2については4月10日現在であり、本日現在では火災件数40件。

資料6-3について。正副部会長会議において、林野火災における防災ヘリの運用についての質問を受けたため、火災防ぎょ活動フローチャート（林野火災の場合）を示した。119番通報を受け、その通報内容を航空隊へ第一報として情報提供する。状況により防災ヘリを正式に要請となった場合、航空隊が出動準備を行うが、林野火災の場合はタンクの装着が必要となるため、準備には30分～1時間程度を要する。そういった点をふまえ、いち早く情報提供して正式要請に基づいて運行することとなっている。要請についての第一報は消防が入れるが、正式に要請する場合については市町村と連携をとりながら行っている。その際、「市町村側から航空隊に連絡することはあるか」との質問を受けたが、航空隊への連絡・対応等については消防機関が行うということでご理解いただきたい。

③火災放送有線化工事について（資料なし）

27年度事業で進めてきた工事が完了し、試験運用が終了し、4月1日から運用開始となった。放送確認は従前どおり行い、引き続き迅速・確実な運用に努める。

**【質疑なし】**

(6) 水道事業の研究について

…資料7による説明（塚平事務局次長）

資料については2月に総務省から出されたもので、「市町村等の水道事業の広域連携を進めなさい」という通知。市町村等の水道事業の広域連携については、企業団化などの事業統合に限らず、経営の一体化、維持管理業務や総務系の事務処理などの管理の一体化、浄水場などの施設の共同化など、様々な方策について検討することが必要であるが、現状はなかなか進んでいない。そういった現状をふまえて、「これをどう広域連携して行っていくか」という検討体制を平成28年度中に構築し、その検討を始めなさい」という内容。また昨年、長野県の企業局からも「南信州広域連合の構成市町村がそれぞれで行っている水道事業の持続可能な維持・運営について、何か広域的にできるものはないか」と検討し

てほしい」との依頼を受けたことから、今年2月15日に構成市町村の水道担当者に集まっていただき、現状について調査・研究を始めた。この部分を今年さらにはさらに一歩進めて、引き続き構成市町村の水道担当者に集まっていただき、各市町村の水道事業運営状況・配水池等の調査を行い、何か広域的にできるものはないかという検討を始めていきたい。今後、改めて各市町村へ調査を兼ねて通知し、担当者に集まっていただき検討を進めたい。ご承知いただき、ご協力をお願いしたい。

【質疑なし】

(7) 後援依頼について

…資料8による説明（北原事務局次長補佐兼庶務係長）

資料8-1について…「いいだ人形劇フェスタ 2016」（いいだ人形劇フェスタ実行委員会）の後援依頼。平成28年8月2日（火）～8月7日（日）（6日間）開催。詳細については資料参照。

資料8-2について…「うるぎトライアル RUN」（うるぎトライアル RUN 実行委員会）の後援申請。平成28年10月9日（日）開催。詳細については資料参照。

以上2件について、後援のご協議をお願いしたい

【質疑なし、後援承諾】

4 長野県

●下伊那地方事務所

…パンフレット・口頭による説明（山本所長）

①民俗芸能継承について。昨年度、事業推進組織として「南信州民俗芸能継承推進協議会」をスタートさせ、取組方針が策定された。ご理解・ご協力に感謝申し上げます。今年度は民間企業等の支援を促進するため「南信州民俗芸能パートナー企業制度」をスタートすることになっている。制度の仕組みは、伝統芸能の継承にご賛同いただける企業等と広域連合の間で協定を締結し、県はパートナー企業として登録し周知する。できるだけ早期にこの制度をスタートさせたいと考えている。

②「しあわせ信州移動知事室」について。日程は5月16日（月）から18日（水）までの3日間。初日の5月16日午後には知事と市町村長との意見交換会を予定。また5月18日に伊那谷自治体会議を予定。

【要望】（下平豊丘村長）

南信州民俗芸能パートナー企業制度について。これはまさに今年から始まる「企業版ふるさと納税」にアジャストしている。企業版ふるさと納税は企業が地域おこしのために事業に賛同することによって経費に算入されることで、契約した分を地方にも返せる。飯田下伊那の民俗芸能は上手に売り込めば、かなりの企業版ふるさと納税がとれる可能性があると思われる。この地域のためになると思うので、ぜひ広域連合として考えていただきたい。

【応答】（渡邊事務局長）

民俗芸能については、それぞれの地区の事情があるため難しい状況にある。この件についてはマンパワー不足の対策を第一としている。また費用等も含めて持続可能でないといけないため、一時的にお金が出てはなくなってしまってもいけない。今後検討しながら、まずはできるところから動かしていきたい。

【質疑】（熊谷阿智村長）

各担当には既に案内されていると思われるが、この南信州民俗芸能パートナー企業制度は4月1日から既にスタートしているということで、いつでも申請・登録は可能という認識でよいか。

【応答】（山本所長）

この制度は今年度からということで、できるだけ早くパートナー企業の登録を行っていきたい。

●飯田建設事務所

…口頭による説明（西元所長）

4月1日から飯田建設事務所長に着任した。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

4月9日に主要地方道天竜公園阿智線伍和工区が無事開通した。多くの皆様のご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。国道151号・153号を結ぶ路線であり、下條村・阿智村・泰阜村等を結ぶ路線である。こうした広域的な幹線道路になるような道路整備は、広域連合の取り組みに対しても支援となるものと考えている。そういった観点に立ち、引き続き整備を行ってまいりたい。なお平成28年度は、国道151号の阿南町新野峠バイパス及び国道152号の三遠南信に通じる現道改良区間の下市場トンネルを含めた和田バイパス区間の開通を目標に、整備に取り組んでまいりたい。引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

●飯田保健福祉事務所…なし

5 その他

…チラシによる説明（竹内飯田市産業経済部観光課長）

「第19回ツアー・オブ・ジャパン」南信州ステージ開催について。今回は新たに京都ステージが加わり、全行程8ステージとなった。開催期間は5月29日(日)から6月5日(日)まで。出場チームは国内外から16チーム、総勢96名の選手が参戦。今年で11回目を迎える南信州ステージは、6月2日(木)に開催。コース設定及び交通規制等のタイムスケジュールについてはチラシ裏面を参照、昨年と同様である。今年の変更点は、大会本部の方針決定により各ステージにおいてホームチームを設けることとなった。南信州ステージにおいては「チーム右京」を応援することとなっている。このチラシについては、各市町村の文書配達日に合わせて4月13日(水)より随時委託業者がお届けする。住民の皆様にご配布していただき、南信州ステージの内容・交通規制についてお知らせをお願いしたい。当日は長時間にわたり交通規制が敷かれ、大変ご迷惑をお掛けするが、南信州唯一の国際競技を成功させるためにご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

6 今後の日程

- 5月16日(月) 連合会議
- 5月23日(月) 南信州広域連合議会

7 閉会…15:27